

RH850ファミリ用 統合開発環境CS+ ご使用上のお願い

RH850ファミリ用 統合開発環境CS+ V3.00.00の使用上の注意事項を連絡します。

- データフラッシュ領域への書き込み時の注意事項

1. 該当製品

- RH850ファミリ用Cコンパイラパッケージ(統合開発環境付き)
- 無償評価版CS+ for CC V3.00.00 (RX, RH850用)

上記のうち、CS+共通部分V3.00.00である製品をE1、E20およびIE850エミュレータと組み合わせてRH850ファミリMCUをデバッグする場合。

バージョンの確認方法は、以下のURLからご参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_ver

2. 内容

データフラッシュ領域へ書き込みを行った場合、指定したアドレス範囲外に不定値を書き込む場合があります。

3. 発生条件

下記(1)~(3)の条件を全て満たす場合に発生します。

- (1) データフラッシュ領域へのデータ書き込み
- (2) 下記のいずれかの方法によるデータ書き込み
 - ウォッチパネルまたは、Python関数 `debugger.Watch.SetValue`
 - Python関数 `debugger.Memory.Write`または、`debugger.Memory.WriteRange`
- (3) アクセスサイズが2,4または8バイト指定の場合

4. 回避策

ダウンロード以外の操作でのデータフラッシュ領域への書き込みは、以下のいずれかで行ってください。

- メモリパネルからの書き込み
- Python関数を使用する場合はアクセスサイズを"Byte"に指定して書き込み

Python関数の詳細は、下記ドキュメントを参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_document

CS+ V3.00.00 統合開発環境 ユーザーズマニュアル Pythonコンソール編
(CS+ for CC)

5. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.